

# 新春号

# 2022年新春

今年も一年どうぞよろしくお願ひ致します  
 この一年が皆様にとって健康で元気で  
 良い一年でありますようにそして  
 たくさん着物でお出かけできる新しい  
 追い風となりますようにお祈り申し上げます

華ちりめん伊と錦 西村武剛  
 純好  
 州巨

今年の干支は【壬寅】  
 「みずのえ・とら」で  
 す。昨年は【辛丑】（  
 かのとうし）でした。  
 さて今年はどうな年にな  
 るでしょうか。  
 私の調べによれば、干支の意味でい  
 うと、大海原に新しい事や新しいモノ  
 が飛び出して、意気揚々と発展する年

とのこと。昨年の色んな出来事や経験  
 を糧にして、植物で例えるなら、やっ  
 と土から芽が顔を出し、大きく成長し  
 ていくようなイメージなのだそうです。  
 ぜひこの良い波に乗って、自分だけの  
 綺麗な「花」を咲かせてみたいですよ  
 ね。

新年一月三日は「新月」です。おま  
 じないみたいなことですが、お願ひ事  
 をしてみたり、新しい計画を立てたり  
 するにはとっても良い時期みたい。ワ  
 クワクできるような計画が練れたら  
 いですね。

今年も一年お役に立  
 てるよう頑張って参  
 ります。どうぞごひ  
 いきを頂けますよう  
 よろしくお願ひ申し  
 上げします。

## 初売

お年玉  
 入っています

新春初売  
 6日～9日迄  
 伊と錦店内にて  
 AM10:00 - PM7:00



伊と錦の仕事始めは、6日の「初売  
 り」から始まります。着物を扱う弊社  
 では、「初もの」は「身を守る」とい  
 うことから、長じゅばんや着物の裏地、

半衿や帯、帯締めなど、身体の気を付  
 けたい部分を守るアイテムをおすす  
 めしています。しかも「お得」です。

着物の裏地や長じゅばんは身体全体  
 を覆うものとして、半衿や帯、帯締め  
 は、邪気が入り込んでこないように  
 という意味です。古き良き風習とも言  
 えますよね。おばあちゃんの知恵袋の  
 ような大切にしたい文化でもあります。

ある時ジュエリーデザイナーの方  
 に教えて頂いたことがあるんです。  
 それは、女性のペンダントは長さは  
 皆さんいろいろお持ちだと思います  
 が、正式と言いますか、正しい付け  
 方は胸と首の間の窪んだ位置なんだ  
 そうですよ。西洋の考え方は、ジ  
 ュエリーのストーンには「神秘の力  
 」が宿っていて、胸元にするのは、  
 そこから邪気が入ってこないよう  
 する為なんだそうです。男性だつた  
 ら、ネクタイにもそういう意味があ  
 るのだそうです。当然ファッション  
 としてのアイテムとしてもそうです  
 が、隠れた意味にはそんなこともあ  
 るようです。日本という文化、  
 着物の衿がそれに当たるよう  
 ですよ。確かに右と左とを  
 左右上下重ねて、長じゅばん



今年最初の特別な特典は、ジャジャーン！ずばり「お年玉」です。伊と錦店内でのみご利用可能ですので、ご注意下さい。ご紹介のお客様にもお使い頂けますので、ぜひ気軽にご利用頂きたいと思えます。どうぞよろしくお願ひ致します。出品は、お徳な胴裏（着物の裏地です）と長襦袢、そしてザ・礼装の着物（留袖・訪問着）や、それにぴったりの袋帯、カジュアルスタイルな紬や小紋の着物、名古屋帯などです。それと帯締めなどの和装小物をはじめお草履やバッグなどもありますよ。ぜひお楽しみにごゆるりとした時間をお過ごし頂きたいと思えます。

**お年玉が  
ついてます！**

**2022年 新春**  
※有効期限があるのでご注意ください  
ください ぜひご確認を。

んも着物も協力して守ってますね。もしかししたら、これは世界共通かも！しません。ぜひ新しい年の幕開けに、シルクのしなやかな手触りや自然なぬくもりを身にまといてみてくださいな。

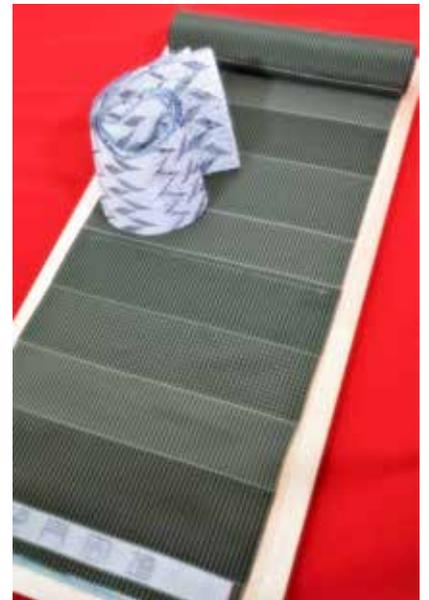
※※※※ きもの アラカルト ※※※※

そうか、そういう着物もあったんだ！

●「スーツ感覚」で着れるきものこんな時はどんな着物を着たらいいの？どんな着物だったら着ても大丈夫なの？と迷う時ってありますよね。今からご紹介するお着物は「お召」です。お召といえ、徳川の將軍様が着心地がいいと大層お気に入りになられて、よくお召しになられたというのが語源となっているようです。お召の着物は先に糸を染めてあとから織る「織り」の着物になります。



お目当ての場所に合わせて、袋帯を結んだり、名古屋帯にしたり、もっとカジュアルに半巾帯でおでかけ。さりげない雰囲気の魅力です。



紬の着物とはまた違って、着心地や手触りも本当にとってもいいものです。將軍様がお気に入りになられたのも、うんうんと頷ける着物です。しかも、紬が普段使いのジーンズだとしたら、お召はスーツ感覚の着物です。普段使いもできて、ちょっといいところ（場面ですね）におでかけして大丈夫。着物の柄にもよるところはあると思いますが、とっても便利な着物です。男性がとりあえずスーツ一着あれば何とかかなる！大丈夫！安定の安心感！のような感覚に近いかもしれません。その着回しの秘密は帯です。フォーマル要素の強い帯を合わせると略礼装に、おしゃれ帯を合わせればカジュアルに、半巾帯にしたならより普段にと、便利よく使えるところが本当に良いところ。男性で例えるなら、ビジネススーツからブレザー姿まで着物一着で上手に着回しできて、尚且つ帯次第で七変化できる、着物の反物の世界ではツワモノです（笑）お染めの着物で比べる対象として探すとしたら、紋のついていない色無地や、江戸小紋（鮫小紋など）というところでしょうか。詳しくはまた機会があるときにご紹介するとして、お召の着物覚えておいて下さいね。

本当にいい着物ですよ。百聞は一見に如かず、ぜひ体験してみてください。

